

F13 オルゴン Orgon

オルゴンの岩場はキャンプ場周辺の比較的易し目のエリアとそこから少し離れたセクターカナルと呼ばれる高難度の集中するエリアの2個所にわけられる。ここではセクターカナルを紹介する。ここはマクナル(8c)・ブロンクス(8c+)、そしてその隣には完成すれば9aはあるプロジェクトなど多くの8aクラスのルートがありフランスを代表する岩場である。

ここはアプローチもなご広場になっているので取り付きやすいのだが、初級者が遊べるルートはない。中級者レベルの人でもかなりきびしいだろう。最近のトップクライマーは岩場に現れず自宅トレーニングしていると良く言われるが、ここは先述したようにアプローチもなく高難度もそろっている為有名クライマーの良いトレーニング場となっている。

岩質
石灰岩

ルート

岩場はオルゴンの村の西側に高さ約50mほどの岩が南北に大きくなっているが、エリアはその下部の一部分にある。エリアは右端が易しめのスラブ、中間部が高難度の集中するどっ被りのエリア、左側は薄被りのロングレートの大きく分けて3個所にわけられる。

しかし、全体的に岩が安定してない。その為持つ岩が剥かれ落ちる危険性もある。現に人気のある7cのルートなどは来るたびにホールが剥がれて変化していた。こうしたことが多くのルートではグレーで補強していたり、ドリリングももちろんのこと、人工ホールが付いていたりとかかなり人為的である。

ルートもポルダ的なものから持久力のものまでさまざまである。しかし最近の岩場だけあってグレートもそれなりにかなり難しく感じた。特に中間部のエリアのルートは7cクラスのルートでもかなり難しい。

トポは1995年版のものが発売されていてこのエリアもでている。

宿泊

キャンプ場はオルゴンの村に近い岩場の下にある。

シーズン

春から秋。冬の12月から2月は無理。エリアは東向きの為、午前中は日があた!昼からは日陰になる。川のすぐ側の為湿気が多くぬめりやすい。また風も吹き抜ける為晩秋はかなり寒い。かなり被っている為少々の雨でも登れる。しかし大雨の後には川の水があふれ車で入れない。

ショッピング

食料品はそこら辺の町のスーパーで手に入る。一番近くの大きな街はカピオン。アピオンまで行けばなんでも手に入る。

アプローチ

CABAILLON からN7号を5kmほど南下するとORUGONの村に着く。村をそのまま通りこしてしばらく行く右に分かれるD569号に入る。すぐ線路を渡り100mほど走ると橋がある。その橋を渡りすぐ右へダートがありそこを入りしばらく走るとエリアの真下に着く。N7号からも大きく石灰岩が見えるのですぐわかるだろう。

その他

ここにはオルゴンおやじがいる。年の頃は60歳以上。毎日夕方バイクでやって来て、相手が日本人であろうともいろいろ話し掛けてくる(もちろんフランス語で)。フランスのクライミング雑誌にも出ていたほどなので向こうでもかなり有名なのだろう。